

仙台高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	エンジニアリング実習
科目基礎情報				
科目番号	0075	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システムデザイン工学専攻	対象学年	専2	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材				
担当教員	本郷 哲			
到達目標				
実習を通して、現場の技術等に触れ、自主的、継続的に考える力、コミュニケーション能力、社会人としての良識のある行動力を身につけることを目標とする。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
活動における評価	社会人として自主的、継続的に考え、良識のある行動力がある。	言われたことを十分に達成した。	社会人としての規律を守らない。	
事前学習、事後学習	積極的に課題の社会的役割を考え、自分の技	事前の研修会に参加し、レポート等を提出した。	事前の研修会等に参加していない。	
発表会における発表	他の学生に十分に参考になるよう発表を行った。	決められた発表を行った。	学んだことを発表していない。	
学科の到達目標項目との関係				
JABEE A2 情報技術を理解し、工業技術に応用できる基礎能力 JABEE B2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力 JABEE C1 日本語により、記述・発表・討論する能力 JABEE D2 専門分野と周辺の工業技術を理解し、デザインに応用展開できる能力 JABEE E2 与えられた制約の下で計画的に、問題解決・開発・創造し、まとめる基礎能力				
教育方法等				
概要	専攻コースに関係のあるテーマについて、実験、設計、プログラミングなどを行い、その内容について発表、討論を行う。実習を通して、今までに身に付いた工学・技術の基礎能力をより創造的で実際に使える能力に深める。			
授業の進め方・方法	テーマ担当教員の指示に従うこと。1日8時間の実習を基本とする。 <事前学習> 2回行われるガイダンス、説明会に参加すること。 <事後学習> 実習レポート、及び発表会に参加すること。			
注意点	テーマは必ずしも希望通りにならない場合もあるが、真摯に実習に励むこと。実習先のルールに従い、社会人としての自覚をもち、良識をもって行動する。インターンシップと合同で実施する事前講習、発表会に必ず出席すること。インターンシップ同様に、専攻研究と明確に区別ができる実習内容でなければ、単位は認定できない。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	事前講習	実習に望むまでの心構え等を理解する。
		2週	実務実習	実習を通じ、「仕事」について考え方将来の技術者としての意識を高める。
		3週		意欲的な実習、及び自主的に考え、実習に創意工夫することができる。
		4週		下記のいずれかの技術を修得する。 ・現場における専門技術 ・研究開発の方法や技術 ・製造等の全行程に関する技術 ・設計、デザイン等に関する技術 ・情報サービス産業の技術 ・公的機関の業務技術 ・海外の技術動向調査、海外における技術者教育の体験
		5週		指導担当者への定期的な報告、連絡、相談の重要性を理解・実行し、コミュニケーション能力を高める
		6週		実習日誌を記載し、課題の抽出と計画性を身につける。
		7週	実習報告書提出、発表準備	実習終了後に、実習証明書、実習日誌、実習報告書を提出する
		8週	報告会での発表	インターンシップとの合同報告会の前刷りと発表資料による報告を行う。
後期	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	実習先の評価	発表	レポート	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	25	25	50	0	0	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	25	25	50	0	0	0	100	